

## 令和 5 年度社会福祉法人かえつ福祉会事業総括

### 【かえつ福祉会理念】

わたしたちは「いつでも、どこでも、誰でもが安心できるケア」を提供し、地域住民と利用者とともに安心して住み続けられるまちづくりの実現を目指します。

### 【施設運営理念】

- 利用者の立場に立ち人権を尊重した運営を行います。
- 医療との連携を強め、障害があっても最後までその人らしく暮らせる施設を目指し、利用者とそのご家族が納得できるように支援します。
- 利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります。  
家庭的な雰囲気の中で一人一人の個性や生活のペースを大切にした健康的な生活と、利用者が相互に社会的関係を築き、自立と自由を大切にした日常生活が送れるよう支援します。
- 利用者が地域の一員として地域や家族との結びつきや交流を大切にして、安心して暮らせるように支援・活動をすすめます。
- 地域に開かれた施設として地域の声に耳を傾けながら、人の集う場の提供や多様な機関等と連携・協働する、地域とともに発展する組織を目指します。

### 【法人概要】

法人名	社会福祉法人かえつ福祉会
代表者名	理事長 山川 良一
主たる事務所の所在地	新潟市秋葉区東金沢 1459 番地 5
認可年月日	平成 24 年 10 月 25 日
設立登記年月日	平成 24 年 10 月 26 日
役員数	理事 6 名、監事 2 名、評議員 8 名

### 【事業】

- ① 特別養護老人ホームあがうら
- ② 特別養護老人ホームあがうらショートステイ
- ③ グループホームあがうら<sup>なごみ</sup>和

### 【職員総数】

(令和 6 年 3 月 31 日現在) 100 人 (他 派遣職員 2 人)

## 【法人基本方針総括】

### ① サービスの質の向上について

5月より新型コロナ5類への移行となりましたが、8月ショートステイでの新型コロナ療養、12月特養でのインフルエンザ療養が発生し、高齢者施設としては感染対策を基本にした運営となりました。一方、特養で、9.10月にユニットミニ祭り、11月に家族懇談会を開催し、すこしずつ入居者・ご家族・職員の交流を開始することができました。

「ご利用者の希望をかなえる」取り組みは、ご家族様アンケートへと発展し48通の返信をいただきました。

### ② 地域における公益的な取り組みの推進、地域の信頼と協力得るための情報発信

阿賀浦コミュニティ協議会、秋葉区自治協議会、新潟秋葉区役所共催の「阿賀浦地区未来ビジョンづくり座談会」への参加、秋葉区社会法人ネットワーク研修会に参加し、地域とのつながりを深めました。地域版「あがうらだより」を2回発行し、15町内会での回覧をおこないました。

### ③ 職員育成面談年2回より、研修・ライセンスの取得支援、職場内での役割を位置づけ、育成と定着を重視しました。定年退職、欠員補充の人材確保に取り組み、基準以上の定数を保持できました。管理者の世代交代に伴う管理運営体制を見直し、必要な管理者研修をすすめました。

### ④ 法令遵守の経営をすすめます。

4月新潟西年金事務所による調査、8月新潟労働基準監督署よりの「災害防止対策書の提出」、10月新潟労働基準監督署立入指導より「介護中の転倒対策改善指導」、12月「パートタイム・有期雇用労働法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、労働施策総合推進法に基づく報告徴収等の実施」等、各指摘事項について改善しました。

## 【各事業所運営総括】

### 2023年度 特別養護老人ホームあがうら運営総括

#### 1. 利用者の視点に立ち、入所・入居者、利用者のサービスの向上、地域の一員としての交流を深めます。

- ・ご本人への聞き取りと、ご家族様へのご希望アンケート（4.5月実施48件回収）で要望実現をすすめました。「花がすきです。花を見に散歩に行きたい（ご家族）」「職員からたくさん声を掛けてほしい（ご家族）」「ビール（ノンアルコール）と枝豆があるといい」「パンが食べたい」など、ユニット行事、お誕生会などで1つずつ実現していきました。
- ・5月より新型コロナ5類への移行となり恒例の「あがうらまつり」の再開をと予定しましたが、夏以降、インフルエンザと新型コロナのダブル感染流行期となり、感染対策も考慮し、9月末～10月中旬にかけて分散型の各ユニットミニ祭りを実施しました。コロナ渦3年間は、ご家族様にレクリエーションやユニット企画にご参加いただけず、今回のミニ祭りで入居・入所様と参加ご家族様が、楽しそうに過ごされている様子や、ご家族様から「ケアにあたる職員や面会時のロビーとは違う生活の場での様子を知ることができ、安心できた」とのお声をいただきました。11月にはご家族懇談会に36名参加いただき、ご家族間交流もできました。
- ・文化祭の作品展示は、1月文化祭には、阿賀小学校、新関小学校、新津第五中学校から作品提供いただき、交流が図れました。
- ・晩秋号、新春号と地域版「あがうらだより」を2回発行し、15町内会での回覧をおこないました。

- ・苦情は9件いただき、各職場で改善に取り組みました。

## 2. 介護の質・業務改善の視点に立ち、ケアの質の向上に努めます。

- ・「感染」、「虐待・拘束」、「安全」の学習に取り組みました。  
参加率は、4月「安全、救急対応」36%、7月感染44%、11月感染43%、9月虐待・拘束86%、3月虐待37%。12月プライバシー・個人情報動画視聴で97%の修了率でした。
- ・エビデンスに基づいた自立支援・重度化防止の取り組みを進めるために、厚労省（LIFE）からのデータフィードバックデータより、後期から個別計画に活用しました。
- ・厚生労働省「自然災害発生時の業務継続ガイドライン」「新型コロナウイルス感染発生時の業務継続ガイドライン」より作成した施設BCPに基づき訓練を行い、手順書の見直し等を行いました。
- ・新潟市への事故報告は6件でした。

## 3. 技術建設・人材育成、成長の視点に立ち、民医連職員の育成をすすめます。

- ・年1回以上の全職員面接を実施し、キャリアアップを図る外部研修への参加を支援しました。
- ・施設内事例報告は多職種2事例、介護9事例まとめました。  
ニヤリホット事例は後期より多職種で取り組み、施設内で7件発表しました。  
第73回新潟県看護介護活動交流集会に1研究発表、第27回新潟民医連学術運動交流集会に2事例報告を発表しました。
- ・中途採用者、異動時の研修に合わせてプリセプターを位置づけました。  
担当者研修は実施できませんでした。
- ・ハラスメント学習「ストレスの気づき」は1/3の職員参加となりました。

## 4. 地域や社会とともにの視点を深めます。

- ・「介護保険制度20年」の学習は1/3の職員参加となりました。  
引き続き社会保障を守る運動への力につなげます。
- ・9月阿賀浦コミュニティ協議会、秋葉区自治協議会、新潟秋葉区役所共催の「阿賀浦地区未来ビジョンづくり座談会」への参加、1月秋葉区社会福祉法人等ネットワーク研修会に参加し、地域とのつながりを深めました。
- ・医療福祉大栄養学科実習生4名を受け入れました。

## 5. 健全な経営収支を確保します。

- ・特養入居率91.6%（目標93.5%）、ショートステイ76.3%（目標87.5%）と目標に届かず、感染症療養、入退院の増が大きく影響しました。
- ・退職、定年退職後の介護・看護職員補充をすすめ、職員確保に努めました。

## 2023 年度グループあがうら和 事業運営まとめ

グループホームあがうら和は開設して4年が経過しました。

今年度は退居6名、新入居6名、年間入居率は87.6%でした。

新型コロナウイルスが5類となりましたが、今までと同様の感染予防策は継続しつつの活動となりました。少しずつではありますが、地域のボランティアの方々にお越しいただき、行事を行いました。入居者の方の新型コロナウイルスへの感染はありませんでした。

地域密着型サービス事業所として、2カ月に1回の運営推進会議は対面で実施しました。ご家族、包括支援センター、阿賀浦コミ協、協力病院、協力施設、他グループホームより参加を得、各参加者からの意見、助言などいただきながら、施設運営をすすめました。毎回、入居者の方々も参加され、発言していただくことができました。

また外部評価を実施し、現状における問題点・課題に取り組みました。

1. 入居者の立場にたったかわり、それぞれの思いを大切にすケアに向けて取り組みました
  - ・ケアプラン、個別援助計画を定期的に見直し、職員間で情報の共有を行いました。24時間シートの見直し、ニーズ、ケアの再確認を行いながら、入居者の思いを大切にすケアに取り組みました。
2. 家族との結びつきを大切にしました
  - ・ご家族との結びつきでは、面会時や受診対応時、ご家族へ電話での連絡、月1回のご家族への手紙、施設広報誌にて入居者のご様子をお伝えしました。また、ボランティアさんや近隣の小中学校との交流は少しずつ始めることができました。
3. 家庭的な雰囲気や役割を持った暮らしを大切にしました
  - ・季節を感じられる行事や、お誕生日会（ゆずユニット23企画、うめユニット19企画）を実施しました。また、9月には初めて2ユニット合同で敬老会を実施しました。日常生活において、家庭的な雰囲気や役割を持って生活できるように環境を整えました。
4. 介護の質、業務改善の視点に立ちケアの向上に努めました
  - ・防火訓練2回、水害訓練1回、地震訓練1回実施しました。地域の方々と協力した防災訓練は実施できませんでした。
  - ・施設内学習は、協力施設の特養とともにすすめ、参加できなかった職員への伝達講習に力を入れました。プライバシーの学習回も実施しました。
  - ・外部研修の新潟市認知症実践者研修は、前期1名、後期1名、新潟市認知症実践リーダー研修に1名受講し、受講者を中心にしてチームとしてケアの改善に取り組みました。
  - ・ユニット1事例まとめ、にやり・ほっとに取り組み、ケアの振り返りに取り組みました。
  - ・転倒による骨折事故が5件、転倒による急性硬膜下血腫が1件発生し、新潟市へ報告しました。毎月のユニット会議にてヒヤリ・ハットや事故の振り返りを実施しました。また、安全な外出支援ができるよう外出マニュアルを作成しました。

5. 人材育成、働きやすい職場環境づくりに取り組みました

- ・チャレンジシートを活用し、職員面談を2回実施しました。全職員が役割を持ち、業務改善に取り組みました。

6. 健全な経営収支を目指しました

- ・事故による骨折や体調不良による入院が長くなり、その後の新入居までに時間がかかり、入居率は87.6%でした。